



fuzokugimu_7
あっという間の4週間



(7Aの様子)



(7Aの様子)



(7Bの様子)



(7Bの様子)



(7Cの様子)



(7Cの様子)

「もっと授業がしたかった」、「もっとみんなと過ごしたかった」、「ゆっくり休みたい」、「教員になりたい」、「こっちの向き合う熱量で子どもは返してくる」、「子どものことが好きになった」。これらの言葉は、昨日（9月18日）最終日を迎えた教育実習生たちが語っていた言葉の一部です。どの言葉も、この4週間本気で授業を行い、子供たちと向き合い、実習生同士で悩み支え合ってきたからこそ出てきた想いの詰まった言葉だと思います。子供たちもその実習生の想いに応えるように、メッセージカードを作り、6限目のお別れ会の企画を考え、精一杯の感謝を言葉と態度で示していました。今日（9月19日）の朝登校してきて、「あ、もう実習生居ないんだ…さみしいな」とつぶやいている子や、実習生からのメッセージを読んでいる子が何人もいて、子供たちにとって実習生が大切な存在になっていたのだなと感じました。

夏休みが明けて、文化祭と教育実習が嵐のように過ぎ去っていきました。もうすぐ新人戦や体育祭があります。秋休みまでのこの2か月間で子供たちがどんな成長を見せてくれるのかとても楽しみです。私たち教員も実習生のように精一杯子供たちと向き合い成長をサポートしていきます。

2025年9月19日